



100年分のありがとう



うるおいある未来のために。

News Release

2025 年 1 月 31 日

「地域のロス解消事業」の事業化について

当行は、「地域のロス解消事業（以下、本事業）」の実証実験を終了し、2025 年 2 月より正式に事業化することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 背景

本事業は 2024 年 5 月より実証実験を開始し、9 か月経過した 2025 年 1 月末時点で 8,500 ユーザー、84 事業者（1 月 31 日現在）にご参加いただいております。今回、実証実験を通してお客さまのニーズを確認し、最終的に事業化の実現性が高いと判断したため、事業化することにいたしました。

2. 事業概要

（1）目的

地域には様々なロスがあり、各事業者が単独で解消するのが難しい現状があります。本事業では、地域のロスを”フードロス””在庫ロス””設備ロス”の3つに定義（※）し、このロスを地域で消費するプラットフォームを構築することで、個人のお客さまへは「割安な商品・サービスの購入」を、事業者の皆さまには「ロスのマネタイズ」を、社会的には「ロスの削減」をサポートし、地域価値共創を実現したいと考えています。

（2）事業開始日：2025 年 2 月 1 日（土） ※事業開始とともに、実証実験は終了する。

（3）プラットフォーム名称：「かせする」 … 熊本弁で加勢する（＝支援する）の意味

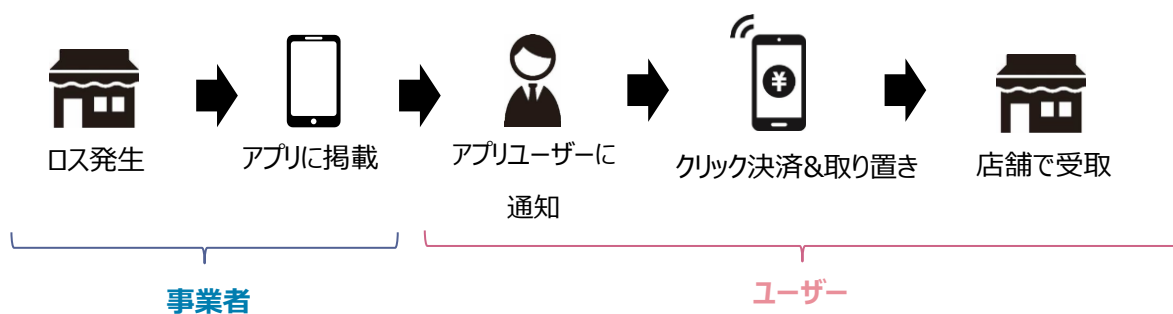
※地域のロスの定義

名称	定義	具体例
フードロス	本来食べられるにもかかわらず購入者を見つけることができず廃棄せざるを得ない食品	・売れ残りの可能性があるパンや惣菜など、消費期限の短い食品 ・クリスマスケーキや恵方巻などの季節もの ・1/3 ルールで行き場を失った食品在庫 ・飲食店での急なキャンセル発生 ・ビュッフェなどでの余剰食材 ・余剰野菜、規格外野菜 など
在庫ロス	活用・利用できるにもかかわらず購入者を見つけることができず廃棄せざるを得ない商材	・飲食以外の経年劣化や流行等により価値が減価する商材 (衣類、季節製品、企画製品、余剰在庫など)
設備ロス	本来利用できるにもかかわらず、不稼働によりマネタイズ機会を失っている設備	・スポーツジム、スポーツ施設、カラオケボックス、会議室などの不稼働設備 ・美容室など予約が必要なサービスにおける急なキャンセル など

うるおいある未来のために。

肥後銀行

(4) サービスフロー



(事業者)

- ・ロスが発生した場合、アプリに商品・サービス情報を掲載します。

(ユーザー)

- ・事業者がロス商品を掲載すると、アプリユーザーにLINEまたはメールにて通知が届きます。
- ・アプリユーザーは、ロス商品の内容を確認し、ほしいものがあったら、購入ボタンをクリックすると、決済が終了します。
- ・決済済みの商品については、直接店舗へ訪問し受け取ります。

(5) 事業者手数料：売上代金×20%

(6) 「かせする」ロゴマーク



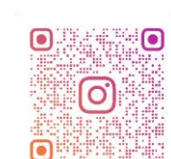
(7) 申し込み、ユーザー登録



事業者



ユーザー



(公式Instagram)

以上

《本件に関するお問い合わせ》

肥後銀行 経営企画部 新規事業担当 田中、中島

096-326-8603

受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日は除きます)